

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	簿記入門1 (Introduction to bookkeeping1) 391060-14600					担当教員	喬 雪氷 (キョウ セツヒョウ) 和田 智美 (ワダ トモミ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
複式簿記は14世紀頃、北イタリアで誕生した後、株式会社の発展とともに世界へ広がり、明治初期日本でも取り入れられた。現代企業における簿記は、日々の取引を帳簿に記録し、経営成績と財政状態を財務諸表としてまとめる一連の手続きである。本講義はこれらの一連の手続きを修得すること、さらに、日商簿記検定3級の合格レベルの到達を目標とする。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
毎回必ずテキストと電卓を持参する。簿記を学ぶ上では、受講するだけではなく、実際に手を動かし、問題を解くことは大事である。毎回、練習問題のプリントを配布し、授業内でも必ず問題を解く時間と質疑応答時間を設ける。受講後、復習と練習問題を繰り返し解いてください。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
簿記・会計関連の科目を履修していることが望ましい。
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i) 複式簿記の基本構造を理解する (ii) 仕訳の方法と転記のルールを理解する (iii) 試算表の作り方を理解する
⑥ テキスト(教科書)
滝澤ななみ(2021)『スッキリわかる 日商簿記3級第12版[テキスト+問題集]』TAC出版
⑦ 参考図書・指定図書
特になし

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%	30%						100%
(i) 複式簿記の基本構造を理解する	10%							10%
(ii) 仕訳の方法と転記のルールを理解する	20%	15%						35%
(iii) 試算表の作り方を理解する	40%	15%						55%
フィードバックの方法	練習問題を解くことは講義内容の再確認となる。間違えた箇所を復習し理解を深める。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
本講義は資格対応科目である。まず、小さい目標（簿記初級を合格すること）を設定し、クリアしたら、3級、2級、1級と段階的に目指しましょう。初級簿記の試験方式はインターネットを介する「ネット試験」であり、大学でも受験できるため、希望者は教員に相談すること。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス 第1章 簿記と会計の歴史、 簿記の基礎①	筆記用具	教科書のはしがき pp. 12～33 を読んで くること。簿記の一巡手続きを理解する。 宿題を完成する。	60分
2	第1章 簿記の基礎②	筆記用具	教科書 pp. 2～10 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
3	第2章 商品売買	筆記用具	教科書 pp. 12～29 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
4	第3章 現金、第4章 普通預金、 当座預金、当座借越	筆記用具 電卓	教科書 pp. 32～52 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
5	第15章 仕訳帳、転記、総勘定元帳	筆記用具 電卓	教科書 pp. 190～193 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
6	第16章 試算表	筆記用具 電卓	教科書 pp. 212～217 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
7	第5章 小口現金、小口現金出納帳	筆記用具 電卓	教科書 pp. 54～60、196～197 を読んで くること。宿題を完成する。	60分
8	第6章 手形と電子記録債権（債務）	筆記用具 電卓	教科書 pp. 62～69 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分

9	第7章 貸付金、借入金など	筆記用具 電卓	教科書 pp. 72～78 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
10	第8章 その他の債権債務①	筆記用具 電卓	教科書 pp. 80～93 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
11	第8章 その他の債権債務②	筆記用具 電卓	教科書 pp. 94～93 を読んでくること。 宿題を完成する。	60分
12	第15章 仕入帳と買掛金元帳、 商品有高帳①先入先出法	筆記用具 電卓	教科書 pp. 198～199、202～203 を読ん でくること。宿題を完成する。	60分
13	第15章 商品有高帳②移動平 均法、売上帳と売掛金元帳	筆記用具 電卓	教科書 pp. 200～201、204～205 を読ん でくること。宿題を完成する。	60分
14	第9章 その他の費用	筆記用具 電卓	教科書 pp. 107～116 を読んでくるこ と。宿題を完成する。	60分
15	まとめ	筆記用具 電卓	宿題を完成する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて

講義では、テキストに沿って解説をし、次に問題を解いて理解を深めるようにする。質疑応答の時間も設け、知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

[和田智美]

税理士事務所の勤務を経て、税理士として独立開業している。主に、地域の中小企業の税務・会計・相続・事業承継に関する業務に従事している。

実務経験と授業科目との関連性

[和田智美]

様々な企業の会計処理の経験から、テキストで紹介されている例題について具体的な事例で紹介が可能であり、分かりやすく解説する。